

老舗旅館再生 地方に活気を

星野リゾート元取締役の投資会社

雫石の長栄館 来夏再開へ

昨年、運営を休止した雫石町・鶯宿温泉の老舗旅館「長栄館」。同館を買収した東京の投資会社が三井住友系の不動産関連会社とタッグを組み、来年7月の営業再開をめざして準備を進めている。経営難にある全国の宿泊施設の再生を手掛けるうえで、同館はその「第1号」という。

鶯宿温泉は開湯450年と伝わる。その昔、一羽の鶯が傷を温泉に浸して治したことが鶯宿の由来という。秘湯として盛岡市民らに親しまれ、長栄館は中心的な存在だった。

だが新型コロナウイルスなどの影響で経営不振に陥り、昨年2月に破産手続きの開始決定を受けた。元社長は新型コロナウイルス対策の国の補助金約4億2500万円をだまし取ったとして、今年3月に詐欺罪で実刑判決を受けた。

窮地に陥った長栄館の復活をめざしているのは、東京の投資会社「NBIホールディングス」。金谷隆行社長(44)は不動産会社勤務などを経て、星野リゾートの取締役を務めた経歴がある。その



リニューアル後の大浴場のイメージ図。快適さを追求しつつ、ひなびた温泉の雰囲気も残すことをめざしているというNBIホールディングス提供

NBIホールディングスの金谷隆行社長
11月9日、雫石町



後、投資会社勤務などを経て、2024年にNBI社を立ちあげた。

金谷さんは「観光産業は地方で数少ない成長産業。地方を活性化していく施設を作るため、どんな投資していきたい」と話す。今後2年間で総額300億円を投資し、全国の旅館やホテルの再生に取り組むという。長栄館以外にすでに大分県や静岡県などの旅館などを取得している。

長栄館の再生プロジェクトには、三井住友系の不動産関連会社「SMF

「みらいパートナーズ」が参画し、金融面で支援する。NBI側が買収した長栄館をみらいパートナーズ社に売却し、経営が軌道に乗るまで同社が保有を続けるという。NBI社は改修工事の企画、施設の運営などを担当する。

客室を従来の55室から57室に増やし、全面的な改装を施す。金谷さんは「毎分1千円以上の湯量は全国屈指で魅力。秘湯感を大事にしたい」と話す。従来の盛岡近郊からの利用客に加え、首都圏からやインバウンド客の引き込みを狙う。

NBI社は今後、「長栄館」の名称変更も含めて、事業内容を検討していく。雫石町の猿子恵久町長は、9月19日にあった改修工事の安全祈願祭で「コロナが致命傷で旅館業は苦しんでいる。そうした中で新しい息吹。本当に心強い」と歓迎した。

(小泉 樹)